



龍ヶ崎市マスコット
キャラクター「まいりゅう」

地域コミュニティ NEWS

第5号 平成26年2月14日発行

回覧

【編集・発行】

龍ヶ崎市役所 市民生活部 市民協働課
コミュニティ推進グループ

☎0297-64-1111 内線437・438

年が明け、間もなく年度末を迎えようとしています。平成25年度に設立した7つの地域コミュニティでは、引き続き活発な活動が行われています。今回は前号（昨年11月15日発行）以降に行われた各地区の活動の様子をご紹介します。また、2つの地区の会長の方から設立初年度の1年を振り返ってのコメントを頂きました。

城ノ内コミュニティ協議会



ご家庭のちょっとした困り事、解決しています。

～「城ノ内お助け隊」にご連絡ください！～

昨年10月にご家庭のちょっとした困り事のある方をお手伝いし、地域のつながりを深めるために始まった「城ノ内お助け隊」には、いろいろな依頼が届いています。

「自宅を留守にするので、室内にいるペットに食事を出してほしい」、「療養中の父の将棋の相手になってほしい」城ノ内お助け隊は、このような困り事も解決していますが、これらは日

ごろからの地域の深い信頼関係があるからできる活動ではないでしょうか？

お助け隊では、このほど専用の軽自動車を用意し、買い物の付き添いなど軽自動車を使ったお手伝いの体制を充実させました。地区内の皆さんのご利用とご協力をお待ちしています。

川原代ふれあい協議会

「ならせ餅・鳥追い祭り」に新聞社の取材殺到！



1月14日（火曜）、川原代小学校1,2年生23人と川原代ふれあい協議会（役員・文化部）がコミュニティセンターで臼と杵を使って餅つきを行い、きな粉餅や雑煮などにしておいしくいただきました。その後、紅白の餅をツバキの木3本に飾り付けました。

夕方5時には、コミュニティセンター裏の駐車場において、火柱が立つ中、参加者はシノに刺した餅を焼いて食べ、無病息災を祈願しました。

翌日以降、いくつかの新聞にも記事が掲載され「ならせ餅・鳥追い祭り」がまちの話題となりました。



年末警戒パトロール～「県下一斉街頭活動強化日」に参加～

12月20日（金曜）午後7時より、竜ヶ崎警察署からの要請に基づき「県下一斉街頭活動強化日」年末警戒パトロールが行われました。川原代ふれあい協議会からは26人が参加しました。

年末の夜の寒い中、Qiz MALL 龍ヶ崎（小通幸谷町）から佐貫駅にかけ、パトロールを行いました



長山地域コミュニティ協議会



敬老祝賀会でおもてなし ～長山地区初の開催～

健康・福祉委員会では、11月17日（日曜）に「第1回長山地区敬老祝賀会」を開催しました。長山地区の80歳以上の皆さん（34人）をコミュニティセンターにお迎えし、手作りの昼食や楽しい手品、オカリナやハーモニカの美しい演奏、フォークダンスの披露で楽しいひと時を過ごしていただきました。長山地区では初めての試みとなりましたが、大勢のボランティアの皆さんの協力を得て盛大に開催することができました。

まいりゅうも登場 ～「長山新春祭り」を開催～

文教・体育委員会では、1月18日（土曜）、19日（日曜）に「長山新春祭り」を開催しました。両日とも好天に恵まれ、「どんど焼き」「遊びの広場」「吹奏楽演奏会」「餅つき」「大抽選会」など数多くの企画に加え、市のマスコットキャラクター「まいりゅう」も登場するなど大いに盛り上がりました。



龍ヶ崎西コミュニティ協議会

お揃いのジャンパーで活動しています！

5つの委員会では、それぞれ概ね月1回程度会議を開催しています。その中で「防災訓練などの行事の時は、誰が協議会の委員か一目で分かるよう、お揃いのジャンパーを購入しては？」との提案がある委員から出されました。

協議会では、広報紙のタイトルである『西の風』をモチーフにし、協議会名を左の胸と背中に入れた黄色のジャンパーを購入し、委員全員に貸与することにしました。

龍ヶ崎西小学校との合同防災訓練や、視察研修・ウォークラリーなどの活動時に、各委員はこのお揃いのジャンパーを着用しています。地域の人たちからは「参加者と委員との違いが分かっていいですね！」との声を頂いています。



馴染まちづくり協議会



馴染地区を花いっぱいにしましょう！

馴染花いっぱい運動連合会を中心に、龍宮通り（県道佐貫停車場線）沿いで活動を行う「花いっぱい運動」が始まり11年がたちました。環境委員会では、高齢化による花いっぱい運動への参加者減少の課題を解決するために、さまざまな活動をしています。

まず、馴染まちづくり協議会の広報誌「まち協にゆ〜す」を活用し、きめ細かい連絡を始めました。また、効率的に活動できるように馴染コミュニティセンターに機材や肥料を保管する倉庫を設置しました。そして、龍宮通りだけではなく、地区内のご家庭や公共施設における花づくりを応援するために「馴染まち協花づくりコンクール」を開催したり、各種イベントなどの参加者に花の種を配付しました。これらの成果もあり、花いっぱい運動への参加者は増加し、市内企業のボランティアチームによる協力も得ることができました。

環境委員会では、これからも花づくりを通して、地域のつながりを深める取り組みを続けていく予定です。



【ダイワハウスのボランティアの皆さん】

龍ヶ崎地域コミュニティ協議会

59人が熱戦を展開 ～「新春囲碁・将棋大会」を開催～

文化部では、恒例の「新春囲碁・将棋大会」を、1月26日（日曜）に開催しました。この大会はコミュニティセンターの前身である龍ヶ崎地区公民館が開館した平成8年度から続いている恒例の行事で、今回で17回目を迎えました。

20代から80代までの幅広い年齢層から参加があり、囲碁の部は26人、将棋の部は33人の計59人の皆さんが熱戦を繰り広げました。

1日がかりの大会となりましたが、参加者同士の交流・親睦を深めることができました。なお、大会の結果は次の通りです。



【囲碁の部】

優勝	準優勝
東 顕司さん	椎名 実さん

【将棋の部】

ブロック	優勝	準優勝
A	海老原 英行さん	鴻巣 司さん
B	根本 一三さん	太田 芳雄さん
C	大熊 昇さん	椿山 文啓さん

北文間コミュニティ協議会



「あおぞらサロン」が2月22日にオープンします！

健康・福祉委員会で検討してきました、地域の中で誰もが気軽に集うことのできるフリースペース「あおぞらサロン」が2月22日（土曜）午前10時、コミュニティセンター内にいよいよオープンします。

お隣さんの顔も知らない、近所に友達はいない、だけど身近に知り合いがいたら……「あおぞらサロン」はそのような皆さんの思

いが形になった「地域の居場所」です。サロンには、カップ式の飲み物（1杯80円）の自動販売機を設置します。お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、散歩の途中に休憩がてら立ち寄りたり、特に用事がなくても誰でも気軽にご利用いただけます。オープン当日は、お一人様飲み物1杯無料サービスです。ぜひ、皆さんお立ち寄りください。

地域コミュニティ設立初年度「この1年を振り返って」

～ 龍ヶ崎西コミュニティ協議会・海老原会長、川原代ふれあい協議会・木村会長に伺いました ～



龍ヶ崎西コミュニティ協議会
会長 海老原 劭



川原代ふれあい協議会
会長 木村 武

昨年4月に新体制で発足、はや1年、時の流れの早さを実感しております。顧みると各部会、新メンバーと共に無我夢中でひたすら前を向いて活動してきた日々が思い出され、この成果に関係してきた皆さんのご尽力に感謝あるのみです。

「地域の方々のため」の一念で皆さんと共に頑張ってきた本年、拙速感否めないと反省しております。この反省を踏まえ次年度は、皆さんと共に地に足の着いたゆとりある活動の中で達成感を共有したいと考えております。また、龍ヶ崎西小学校とのジョイントも実現し、学校との連携も深まり人の輪（絆）の大切さ、大きさを痛感した年でした。

我々の活動は、地域に理解されてきております。大きく開花する日を目指し皆さんと頑張る所存です。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

川原代ふれあい協議会が発足し、約1年が過ぎようとしております。

この1年を振り返り、今年はより充実した活動をめざし、特に長寿会や防犯パトロールを強化するため事業を進めてまいりました。

来年度に向けての事業計画としては、まずは長寿会や防犯活動、防災訓練などの組織作りから始め、協議会を本部として各地区を支部とした連絡網を作成し、地域全体が協力して防犯・災害・高齢者対策など進めていきたいと考えております。

最後に川原代地区の皆さまが、誰でも楽しく参加できるような環境づくりを作っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成26年度スタートに向け、準備中！～八原地域コミュニティ設立準備会～

八原地域コミュニティ設立準備会（藤田信夫会長）は、「八原コミュニティ協議会」（仮称）の平成26年度設立に向け、事業計画や収支予算、規約などの案について話し合いを進めています。

【設置する委員会と主な実施事業(案)】

① 文化体育委員会

- … コミュニティセンターでの各種講座の開催
グランドゴルフ大会等の開催
コミュニティセンター夏祭り・秋祭りの開催 など

② 子ども委員会

- … コミュニティセンターにおける子どもの居場所作り（夏休みなど） / あいさつ運動の奨励
青少年の健全育成

③ 防犯防災委員会

- … 小学生の登下校見守り活動の充実 / 八原小学校との合同防災訓練の実施

④ 福祉委員会

- … 地域の見守り活動の充実 / 長寿会活動の支援

⑤ 広報委員会

- … 活動内容や地域情報をお知らせする広報紙の発行

*この他、地区内の住民自治組織（区や自治会、町内会など）の活動を支援するための応援金制度を設ける予定です。



地域担当職員制度 「地域と行政のパイプ役として、活動をお手伝いします」



【川原代ふれあい協議会設立総会で
あいさつする地域担当職員】

地域コミュニティを設立した地区には、地域と行政のパイプ役となる「地域担当職員」を配置しています。

課長級職員をサポート長とし、以下5人の地域担当職員が地域コミュニティの会議や行事に参加しています。

市では、7地区に配置した地域担当職員のサポート長（課長級職員）と副サポート長（課長補佐級職員）による意見交換の場を定期的に設けていますが、初年度である平成25年度を振り返って「会議や行事に参加することで、地域の皆さんとの距離が縮まったと思う」といった感想が聞かれる一方、「地域コミュニティの委員の方との役割分担がよく分からなかった」という課題も提起されました。

初年度の振り返りを大切にしつつ、活発な地域コミュニティ活動のお役に立てるよう、引き続き地域担当職員制度を運用してまいります。

稲敷広域消防本部からのお知らせ

「住宅用火災警報器の設置はお済みですか？」

～茨城県の設置率は2年連続全国最下位～

消防法の規定により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されていますが、都道府県別の設置率では、茨城県は2年連続で最下位（平成25年64.3%、全国平均79.8%）となっています。

火災による死者の8割は住宅火災から発生しており、火災の発生をいち早く知らせてくれる住宅用火災警報器の重要性は高まっています。「まだ設置していない」という方は、早めに設置しましょう。

